topic 1

問▶スポーツ課(☎〈75〉3535)

世界に挑んだ、安城の誇り



金・銀・銅！3人のメダリストが語る、あのときの想い。

愛知・名古屋で開催された第20回アジア競技大会と第５回アジアパラ競技大会。
安城市にゆかりのある３人の選手が、日本代表として素晴らしい活躍を見せました。
メダルを手にした、３人の輝くメダリスト達に、今大会を振り返ってもらいました！

アジア競技大会



中溝 優生(なかみぞ ゆい)選手
ソフトボール
金

地元で７連覇を達成できたことが本当に嬉しく、ホッとしました！会場で皆さんの笑顔や温かい声援を直接感じられたことは、私にとって大きな力になりました。地元でのホームランも、最高に思い出深いです。

今回の金メダルが、会場に来てくれた子ども達を含め、多くの方にソフトボールの楽しさを知ってもらうきっかけになれば嬉しいです。今後はリーグ戦やロサンゼルス五輪に向けて頑張ります！



渡部 仁(わたなべ じん)選手
ハンドボール
銅

目標の金メダルには届かず悔しさもありますが、メダルを獲得することができてホッとしています。皆さんの熱い声援は大きな原動力でした。準決勝の後は悔しさもありましたが、「応援してくれる皆さんに誇れる結果を」とチームで団結し、３位決定戦で勝利を掴めたことは大きな自信になりました。

今回の経験で得た自信と課題を胸に、来年のロサンゼルス五輪アジア予選での１位通過を目指します！

アジアパラ競技大会



神谷 歩未(あゆみ)選手
ゴールボール
銀

チームとして金メダルを目指していたので悔しさは残りますが、応援してくださった皆さんに銀メダルという形で少しでも恩返しができたなら幸せです！本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

念願の舞台に立ち、多くの方にゴールボールという競技を知っていただけたことは大きな喜びです。私達のプレーが一人でも多くの勇気につながっていたら嬉しいです。次は来年の大会で、ロサンゼルス・パラリンピックの出場権を獲得することを目指し、チーム一丸となって突き進みます！

メダル獲得の喜びだけでなく、悔しさや応援への感謝、次なる目標も胸に、それぞれの挑戦は続きます。

これからも安城市ゆかりの選手たちに、温かい応援をお願いします！

